

2011年11月

報道関係各位

ビール酒造組合
日本洋酒酒造組合

**第10回 未成年者飲酒防止
ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン
7,268点の応募の中から
最優秀賞4作品・学校賞2校・学校賞特別賞1校を決定！！**

ビール酒造組合(会長代表理事:相場康則)は、当組合の活動の一環として、国税庁、文部科学省、厚生労働省など関係省庁および、全国養護教育連絡協議会、全国のPTA等の団体のご後援をいただき、日本洋酒酒造組合との共催で「第10回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン」を本年6月から9月末日まで実施いたしました。

今回は、全国の中学生・高校生から7,268点もの作品を応募いただき、選考委員会(審査委員長:東ちづる氏)による厳正な審査の結果、中学校・高校のポスター部門、スローガン部門から最優秀賞各1作品、優秀賞各2作品、佳作各10作品の計52作品と、学校賞受賞中学校1校、高等学校1校、学校賞特別賞1校を選出いたしました。



八重洲富士屋ホテル(東京)で行われた表彰式/2011年11月26日(土)

ビール酒造組合では、2002 年度から「未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン」を実施しております。独創性に富んだ作品を制作することにより、未成年者自身が飲酒防止に対する関心を高めるとともに、未成年者飲酒が及ぼす弊害に関する理解促進の一助となると考えております。

なお、各部門の最優秀賞受賞者および学校賞の受賞校を対象とする表彰式を 2011 年 11 月 26 日(土)に八重洲富士屋ホテル(東京)にて開催しました。当日は、審査委員長の東ちづるさんおよびビール酒造組合・相場会長代表理事より、表彰状・副賞などが授与され、審査講評をいただきました。

当組合では、今後も本キャンペーンを引き続き実施し、未成年者飲酒防止活動を定着させていきたいと考えております。

■ 東ちづる 審査委員長のコメント

本日はおめでとうございます。みなさんの作品はとても素晴らしく、独創的な作品ばかりなので、審査はとても大変でした。

お酒は素晴らしい飲み物です。研究者や技術者など、多くのプロが携わることで、私たちの食卓やお店に届きます。それによって癒されたり、励まされたり、交流を深めることもできます。

私は大人になってから、未成年者が飲んではいけない理由がわかりました。「法律で決まっているから飲んではいけない」といううわべだけの理解でしたが、脳も心も未熟だからだめなんだな、ということを知りました。また、大人になってからは飲み方も問題であるということを感じました。お酒とどのように付き合うかは私たち次第です。

当キャンペーンは未成年者飲酒防止を伝えるにあたって、素晴らしいものであると感じています。子供や先生がそれぞれ発信して、知識のない人が気づいたり、分かち合うこともできます。みなさん正しい知識をお持ちですので、お友達や近所の人、大人にも発信をしていてください。

- | | |
|-----|---|
| ◇主催 | : ビール酒造組合 |
| ◇共催 | : 日本洋酒酒造組合 |
| ◇後援 | : 内閣府、警察庁、国税庁、文部科学省、厚生労働省、(社)全国高等学校PTA連合会、
(社)日本PTA全国協議会、全国養護教諭連絡協議会、全国高等学校長協会、
全日本中学校長会、(社)アルコール健康医学協会 |
| ◇協力 | : 日本教育新聞社 |

ビール酒造組合とは…ビールメーカー5社で構成される認可法人です。

日本洋酒酒造組合とは…ウイスキー等メーカー78社で構成される認可法人です。

**「第10回 未成年者飲酒防止 ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」
受賞者一覧**

※ 受賞作品はビール酒造組合ホームページ(<http://www.brewers.or.jp/>)からご覧いただけます。

●ポスター部門：中学生

	氏名	都道府県
最優秀賞	藤田 悠衣花	大阪府
優秀賞	山田 夏鈴	青森県
優秀賞	清水 梨那	鹿児島県
佳作	新保 真由子	神奈川県
佳作	岩橋 若奈	福島県
佳作	矢口 未来	栃木県
佳作	大場 琴音	兵庫県
佳作	藤岡 美里	東京都
佳作	上道 奈美	青森県
佳作	竹原 万莉那	青森県
佳作	石原 静圭	兵庫県
佳作	石井 三奈美	香川県
佳作	平川 莉帆	鹿児島県

●ポスター部門：高校生

	氏名	都道府県
最優秀賞	齊藤 なつみ	東京都
優秀賞	後藤 芙由子	東京都
優秀賞	西村 沙耶佳	岐阜県
佳作	矢作 恭子	東京都
佳作	岩崎 珠海	東京都
佳作	藤田 茉林	岐阜県
佳作	松浦 里奈	岐阜県
佳作	鷲見 成美	岐阜県
佳作	鈴木 友理香	神奈川県
佳作	持留 まゆ	鹿児島県
佳作	生駒 宇海	愛知県
佳作	久保 紬貴	山口県
佳作	新屋 理沙	神奈川県

●スローガン部門:中学生

	氏名	都道府県	作品
最優秀賞	小川 なつみ	千葉県	飲酒を断る 強い心 飲酒を止める 優しい心
優秀賞	坂井 泰法	新潟県	固い意志 飲酒断わる 強い武器
優秀賞	中來田 裕子	神奈川県	今はダメ！！ そう言ったのは キミのため！！
佳作	山口 花	鹿児島県	飲むな！！ 飲まずな！！ みんなでストップ 未成年飲酒！！
佳作	山崎 嵩大	千葉県	「飲んでみる？」 キッパリことわれ！！ 未成年
佳作	奥 美沙紀	京都府	呑まないと 決めたい心は 大人だよ
佳作	志村 琴乃	千葉県	「少しだけ」 その一言に 負けないで
佳作	神谷 万里子	静岡県	断ろう！ 勇気を出して 「いりません！」
佳作	横田 みぎわ	大阪府	少しのお酒が 多くの損に 少しの知識が 多くの得に
佳作	片桐 碧	静岡県	誘惑と 周りの空気と好奇心 断る勇気は 自分自身
佳作	宮本 京佳	和歌山県	飲みません はっきり断わる 強い意志
佳作	小野 杏佳	北海道	いつだって「絶対飲まない」合い言葉
佳作	秋田 悠樹	青森県	忘れるな！！ お酒は飲まない飲ませない これから始まる未来の為に

●スローガン部門:高校生

	氏名	都道府県	作品
最優秀賞	坂井 百合奈	新潟県	飲まぬ意志 それが誇りの 未成年
優秀賞	阿部 文香	愛知県	守ろう自分の未来 やめよう未成年飲酒
優秀賞	内間 千畝	沖縄県	『STOP！未成年飲酒 未来の元気な私のために』
佳作	齋藤 郁也	千葉県	飲まない意志 それが大人への 第一歩
佳作	山口 祥平	千葉県	「飲みません」 その一言が 本当の強さ
佳作	吉村 春香	千葉県	のんじゃダメ！！ あなたを守る あなたの意思
佳作	藤田 彩花	千葉県	「飲みません」 小さな勇気 大人の一步
佳作	森田 桜子	千葉県	かっこいい！ 絶対のまない すすめない。
佳作	渡邊 貴彦	千葉県	「飲みません！」 かた一い意志が 宝物
佳作	山口 弘登	徳島県	飲んでみようと思つた時から 吞まれてる
佳作	松嶋 奈々	山口県	「飲みません」 言った自分に ほめ言葉
佳作	藤田 智子	山口県	友達なら言えるはずよね 飲んじゃだめ
佳作	鈴木 彩夏	東京都	スポーツにも ルールがある！ 飲酒にも ルールがある！

●学校賞:中学校

都道府県	学校名	担当者
青森県	南部町立名川中学校	山内 ルミ子

●学校賞:高等学校

都道府県	学校名	担当者
沖縄県	沖縄県立糸満高等学校	喜瀬 実名子

●学校賞:特別賞

都道府県	学校名	担当者
岩手県	山田町立山田中学校	佐々木 直子

<最優秀賞受賞 ポスター>



【ポスター部門:中学生 最優秀賞受賞作品】 藤田 悠衣花さん(大阪府)



【ポスター部門:高校生 最優秀賞受賞作品】 齊藤 なつみさん(東京都)

<最優秀賞受賞 スローガン>

【スローガン部門:中学生 最優秀賞受賞作品】 小川 なつみさん(千葉県)

飲酒を断る 強い心
飲酒を止める 優しい心

【スローガン部門:高校生 最優秀賞受賞作品】 坂井 百合奈さん(新潟県)

飲まぬ意志
それが誇りの
未成年

<最優秀賞受賞 学校賞>

南部町立名川中学校

多くの生徒が参加できるよう、未成年者飲酒をテーマとしたシンポジウムを実施。学校薬剤師、販売店、保護者もパネリストとして招聘し、未成年者の飲酒問題を多面的にとらえられる取り組みを行った。

<取り組み内容>

未成年者の飲酒問題を自分ごととして認識してもらうため、シンポジウムを実施。パネリストには、学校薬剤師・コンビニエンスストア店長・保護者代表として PTA 会長および副会長・保健体育教師・生徒代表として保健委員会から生徒が3名参加した。また、シンポジウム実施前には、未成年者の飲酒実態を把握するために、生徒・保護者に向けたアンケートを実施。このアンケート結果をシンポジウムに活用した。

シンポジウム後、生徒の感想では、飲酒問題を深く考え、自分ごととしてとらえており、事後アンケートでは 99.1%の生徒が「今後お酒を勧められても断る」と回答した。

沖縄県立糸満高等学校

飲酒に関するさまざまな問題を抱えている沖縄県として、生徒の問題意識を高めるべく活動を実施。実態調査をもとに、朝の時間や講演会を活用し、半年間の計画を立てて取り組んだ。

<取り組み内容>

生徒・保護者に向けてアンケート調査を実施したところ、喫煙や薬物乱用に比べると飲酒の意識が低いことが判明。朝の時間を活用して、アンケート結果や海外の広告を比較するなど、生徒が考える機会をもった。その後、保健の授業でのパッチテストや、心理療法士を招いた講演会、沖縄県警察本部を招いた講話、保護者の学習会など多岐にわたった活動を実施。一連の活動の後に第2回目のアンケート調査を実施すると、1回目と比較して、飲酒がもたらす身体への影響の理解度が増し、未成年者飲酒を「よくない」と答えた生徒が 6.2%増加するなどの効果を得ることができた。

<最優秀賞受賞 学校賞特別賞>

※東日本大震災で被災するという大変な状況の中で、未成年者の飲酒問題に積極的に取り組んだ活動が評価されました。

山田町立山田中学校

震災で壊滅的な被害を受け、生活に不安を持つ生徒たちが、飲酒や喫煙などに 走らぬよう全校で考える場を持ち、震災に負けぬ強い心を大切にしている。その一環としてポスターの制作に取り組んだ。

「第10 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン」 概要

- ◇ 名 称 : 「第10回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」
- ◇ 募集内容 : ●ポスター・スローガン部門:未成年者の飲酒防止をPRするポスター・スローガン
・最優秀作品は、日本教育新聞を通じて全国の中学校・高等学校にポスターとして配布いたします。
・入選作品については、当組合が各種啓発活動において、活用いたします。
- 学校賞部門:未成年者飲酒防止に関する学校全体での取り組み
- ◇ 応募資格 : ●ポスター・スローガン部門:2011年6月1日現在、中学校・高等学校に在学している方
●学校賞部門:全国の中学校、高等学校
- ◇ 応募形式 : ●ポスター:ハツ切り(27×38cm)～四ツ切り(38×54cm)以内のサイズ
*コンピューターグラフィックでの応募も受け付けています。
(出力サイズ B4 または A3)
- スローガン:ハガキ1枚につき1作品を記入
- 学校賞:学校賞の応募シートに必要事項を記入
(応募シートは、キャンペーンリーフレットを使用。
またはビール酒造組合、日本教育新聞社ホームページより出力)
- ◇ 記入事項 : ●ポスター・スローガン部門:
1)郵便番号・住所 2)氏名 3)年齢 4)学校名・学年 5)電話番号
6)制作活動を通して感じた、「未成年者飲酒」に関する印象および感想
* 作品ごとに、ポスターは裏面に1～6を記入、スローガンはハガキ表面に1～5を、ハガキ裏面にスローガンおよび6をご記入ください。
- 学校賞部門:
1)学校名 2)代表者名(学校長名) 3)担当者名(教諭) 4)担当科目
5)所在地(学校住所) 6)電話番号 7)全生徒数
8)未成年者飲酒防止に関する取り組み
1.取り組みの背景、2.主な取り組み内容、3.成果および今後の課題
* 応募シートに上記の必要事項をご記入ください。
- ◇ 募集期間 : 2011年6月15日(水)～2011年9月30日(金)必着
- ◇ 応募総数 : 7,268点
- ◇ 選考方法 : 厳正なる審査の上、入選作品を決定いたします。
- ◇ 発 表 : 入選者には事務局より直接ご連絡いたします。
また、ビール酒造組合ホームページ上で発表いたします。
- ◇ 表彰式 : 2011年11月26日(土) 八重洲富士屋ホテル(東京)にて開催
* 学校賞受賞校および学校賞特別賞受賞校に対しては東京での表彰式終了後、2012年1月に訪問し、表彰式と未成年者飲酒防止に関する講演を行います。
- ◇ 審査委員長: 東 ちづる氏(女優)

◇ 報 奨 : 【ポスター部門 中学生、高校生】

最優秀賞(各1名)10万円分の図書カード、盾
優秀賞 (各2名)1万円分の図書カード、賞状
佳作 (各10名)5千円分の図書カード、賞状

【スローガン部門 中学生、高校生】

最優秀賞(各1名)5万円分の図書カード、盾
優秀賞 (各2名)5千円分の図書カード、賞状
佳作 (各10名)3千円分の図書カード、賞状

【学校賞部門 中学校、高等学校】

各1校 30万円分相当の商品、賞状

◇主催及び共催・後援一覧 :

主催:ビール酒造組合

共催:日本洋酒酒造組合

後援:内閣府、警察庁、国税庁、文部科学省、厚生労働省、

(社)全国高等学校PTA連合会、(社)日本PTA全国協議会、

全国養護教諭連絡協議会、全国高等学校長協会、全日本中学校長会、

(社)アルコール健康医学協会

協力:日本教育新聞社

＜本件に関するお問い合わせ先＞

第10回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン表彰式

広報事務局(電通PR内)

担当:坂井(080-2045-2961)

Tel: 03-5565-2791/Fax: 03-3546-0432